

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第11回三郷区地域協議会

## 2 報告（公開・非公開の別）

（1）地域独自の予算の事業一覧について （公開）

## 3 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項について （公開）

（2）地域活性化の方向性について （公開）

## 4 開催日時

令和5年3月1日（水） 午後6時30分から午後8時2分まで

## 5 開催場所

三郷地区公民館 集会室

## 6 傍聴人の数

0人

## 7 非公開の理由

—

## 8 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：竹内浩行（会長）、伊藤善一（副会長）、保坂裕子（副会長）

市村 学、伊藤光夫、小山和美、平田 清、平田伸一、山口典夫

吉田一彦、渡部弘美（欠席者1人）

・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長、小池係長、難波主任

## 9 発言の内容

### 【難波主任】

・荏戸委員を除く11人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

### 【竹内会長】

・会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：市村委員、平田清委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【滝澤センター長】**

- ・ 配布資料の確認
- ・ 次第に基づき、議題の確認

**【竹内会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

— 次第3 報告（1）地域独自の予算の事業一覧について —

**【竹内会長】**

次第3 報告（1）地域独自の予算の事業一覧について に入る。

事務局より説明を求める。

**【難波主任】**

- ・ 当日配布資料No.1により説明

**【竹内会長】**

- ・ 今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

以上で次第3 報告（1）地域独自の予算の事業一覧について を終了する。

— 次第4 議題（1）自主的審議事項について —

**【竹内会長】**

次第4 議題（1）自主的審議事項について に入る。

前回の会議では、今後審議していく新しいテーマについて、各委員より意見をいただいた。

それらをまとめた資料があるので、事務局より説明を求める。

**【難波主任】**

- ・ 当日配布資料No.2により説明

【竹内会長】

・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

資料にある意見の補足や、追加したい意見等ある委員の発言を求める。

【平田伸一委員】

前回の会議での発言を分かりやすくまとめてもらったが、方向としてこれをどのようにまとめていくのか。

まとめ方、やり方、今後の進行の仕方を教えてほしい。

【竹内会長】

前回の会議では、各委員より意見をいただき、新しい自主的審議事項というかたちの中でテーマ決めをしていかなければならない。しかし、ある程度、広範囲であるため、私たちが思っていることが、どのようなかたちで自主的審議事項になっていくのかというところがある。

本日は、当日配布資料No.2に記載されている内容を、ある程度まとめて、新しいテーマの候補やある程度の方向性を見出していくことができればよい。

テーマとしては、例えば「小学校の問題」「農地の問題」「農業の問題」等、特定のところにこだわらず、ある程度の方向性を決めていきたい。

正副会長会議の際も、「これだ」というテーマは決められなかったので、もう少しざっくばらんに話をしながら、進めていきたい。

三郷区地域協議会では、任期の中で「公民館」と「春駒」について、煮詰めて進めてきた経緯があるので、残す任期の中で、最近「三郷小学校の統廃合問題」がかなり盛り上がってきているが、それも含めた中で考えていきたい。

出していただいた意見は、すべてつながる課題だと思っている。

その中で、新しいテーマを決めたいという思いがある。

保坂委員より補足願う。

【保坂副会長】

補足になるか分からないが、私たちが自主的審議を任期の中でしていくとなると、残りの任期は1年である。

一年間でやれることは、ある程度、決まってくると思う。

公民館班も春駒班も、三郷の地域が活性化するためにはどうしたらよいのか、ということで「公民館」という切り口や「春駒」という郷土芸能を考えていこうという切り口でやってきた。

根本にある「地域活性化のために大きな課題をどうしていけばよいのか」ということを、残りの一年間で考えていってはどうかと考えた。

残り一年といっても、回数的に考えると正味一年はないので、濃い中身で、目の前にぶら下がっていることを皆で話し合っていくことができればよい。

本当にたくさんあると思うが、細い線で話をしていくのではなく、皆、関わってくるものもあるので、ある程度、振り幅にゆとりを持たせながら、そのような感じのテーマを決めていく、あるいは話し合いができるとうよい。

#### 【竹内会長】

平田伸一委員の質問の回答になっているか分からないが、限られたものもあるが、保坂副会長の補足説明にもあったように、ゆとりがあるような、幅を持たせたかたちの中でテーマを審議していきたい、話し合っていきたい。三郷地区の中のものが皆、つながっていき、一つの審議ができる。しかし、その審議をするのは、私たちしかいない。町内会長協議会や他の団体も、地域のことにに関して、どの程度、話をしているのかということもある。

そういったかたちで、残された任期の中で自主的審議事項として、ある程度のかたちにすることができれば一番よいが、そこまでに至らなくても、意見交換等も行いながら進めていきたい。話し合っているうちに「この人たちと話し合いをしたい」「意見交換をしたい」ということが生まれた場合には、そういったことも実行に移していけばよい。

幅を持たせた中で、審議をしていくことができればよい。

#### 【平田伸一委員】

はっきり言って、よく分からない。言われていることが全く分からない。

本日は、次に議題で「(2) 地域活性化の方向性について」、また協議していくわけである。そことかなりダブってくるというか、当然、重なる部分があるわけである。

「地域活性化の方向性」についても、具体的に「これから、どういうふうな方向に向かうのか」といったところまで、いくつかの項目立てをしていくのだと思う。

そのため、次の「(2)」は逆に分かりやすいと思う。ただ「自主的審議」と「地域活性化の方向性」がどう違って、どういう位置付けにするのか、ということが、はっきり言って、全然分からない。

これから話していくといっても、何を、どうやって、どういうふうに話していくことなのか分からない。

三郷小学校の統廃合の関係はもちろんあるが、「自主的審議事項」が何なのか、よく見えない。教えてほしい。

#### 【山口委員】

一点だけ確認である。

私は、平田伸一委員と同様に、自主的審議事項は確かに必要だと思う。

「(2)」で「地域活性化の方向性」ということが示されて、事前に資料が配布されたので、各自、考えて来ていると思う。

目標を定めると、地域活性化の方向性の構成要素が出てくると思う。

その中のいくつかを自主的審議事項に取り上げて、「活性化するにはどうするのか」ということも、自主的審議事項の項目でよいのではないかと、私はそのように考えてきた。

#### 【竹内会長】

次の議題の「(2) 地域活性化の方向性について」も、やはり正副会長会議の時も、皆、同じくつながるものだったと思った。そのため、どちらが先と順番付けができない。

だが、委員より意見をいただいたものであるので、一つは自主的審議事項に基づくテーマ決めのようなものもしなければならない。

ただ「地域活性化の方向性」を決めてしまえばある程度、一つのかたちができるわけである。

その辺のところは先なのかという気もしないでもないが、そのようなかたちの中でいけば、本来、議題の(1)と(2)を併せてもよいような気はする。

委員の中で、審議しにくい、分かりにくい、となれば、(2)のほうからテーマ決めというか、「地域活性化の方向性」をまとめていったほうが、山口委員の発言にもあったように、新しい自主的審議事項の課題が生まれてくるということとなる。

自主的審議事項については、本日はある程度、方向性というか、テーマを決めなくても、地域の課題をまたみんなで話し合っていこうと。ある程度、そのことを見出すことができればよい。テーマを決めなくても、その中で終わらせて、また次回につなげていくことができるという。

そうであれば「(2) 地域活性化の方向性」について、本日は構成要素までを、グループワークを行って委員より出た意見があるので、それをまとめる。あとは次回で、上段のスローガンを決めてもよいと思った。いかがか。そうであれば、自主的審議事項は自主的審議事項でまた進むのであるが、「地域活性化の方向性」の構成要素を決めて、そのようなかたちの中で進めてもよいものなのか。テーマを決めるのに自主的審議事項は少し置いておき、その中でまた皆で、改めて自主的審議事項の方向性を決めるということでしょうか。

まずは、地域活性化についての方向性の構成要素を決めていきたいと思うが、それでよいか。

・了承を得る

#### 【平田伸一委員】

私も先に「(2) 地域活性化の方向性について」を話し合ったほうがよいと思う。

地域協議会というよりは、地域全体で、どういう方向に向かっていくのか、というものを出すものだと思う。

そういうものを出していく中で、三郷区地域協議会として、残り一年の任期の中で、一年後のゴールを目指す範囲の中で、何かやれるものが分かるかもしれない、または気が付くかもしれない。

そういうものを絞っていくかたちなのかと思う。

あまり漠然としたものを自主的審議事項に掲げることは、私には無理であり、ゴールも見えない。

それこそ、自主的審議事項を進めていくのだが、どこが落ち着きどころなのか、

その先も見えない。

やはり、具体的に見えるもののほうが、お互いに「やった」と確認し合えるものになるような気がしている。

そのため「(2)」の「地域活性化の方向性について」を先に協議して、具体的に私たちが何をチェックしていかなければならないのか、何を進めていかなければいけないのか、ということをお互いに確認し合って、その中から抽出していくのではないか。

**【竹内会長】**

そのような流れがよいかと思う。

平田伸一委員の発言にあったように、そのような流れで「地域活性化の方向性」を決めながら、その中で見出せる自主的審議事項は何なのか、そこに落ち着くものがあるか否かは分からず、到達できるのかも分からないが、そのようなかたちでまとめていきたいと思っている。

以上で、次第4 議題（1）自主的審議事項について を終了する。

— 次第4 議題（2）地域活性化の方向性について —

**【竹内会長】**

次第4 議題（2）地域活性化の方向性について に入る。

前回の会議では「地域活性化の方向性」の作成に向けて、2班に分かれてグループワークを行った。

グループワークでの意見をまとめた資料があるので、事務局より説明を求める。

**【難波主任】**

- ・資料No.1、2により説明

**【竹内会長】**

資料No.1は、前回のグループワークの中で、各委員より出された構成要素の案をまとめたものである。

資料No.1について、付け加えたいものやこうしたい、といったことがあれば発言

願う。

#### 【山口委員】

私なりに考えたことを話させてほしい。

まず、上段の見出しは「三郷区の豊かな自然環境や伝統文化をいかし、世代間交流等を行い、発展と活力ある地域づくりを目指します。」と考えた。

次に、下段の構成要素である。

一点目。「自然や歴史文化をいかした企画」、例えば、先ほど難波主任の説明にあった「写真コンテスト」、あるいは「自然観察会」「春駒」ほか。

二点目。「各種イベントを開催し、世代間交流を図る」ということで、夏祭りや運動会等もあると思う。

三点目。「地域特産品の開発、あるいは発掘」である。三郷米をブランド化してもよいと思う。

四点目。「安心して暮らすことのできる、地域福祉の推進」である。

以上の4点を私なりに考えてきた。

#### 【竹内会長】

今ほど山口委員より、上段の見出しと、下段の構成要素を四つ挙げていただいた。まずは、カテゴリーを捉えた中で、構成要素をまとめていくことができればよい。

今、保坂副会長がホワイトボードに書いた皆さんの意見を出たものを、これとこれは風景の1班のこれと、2班のこれは同じだからこうしたい、など。農業のこれと、芸能のこの辺はつながってくるから一つでここのカテゴリーにこうつなげたいなど、そういう作り方をしていきたい。山口委員のように、もうある程度、考えのある委員もいるだろう。

そういうかたちの中で、カテゴリーをある程度、合成したものを構成要素として挙げていきたい。いかがか。

#### 【平田 伸一委員】

進め方の確認であるが、資料No.2に「構成要素」と書いてある。

そして、資料No.1も「カテゴリー」があって、「構成要素」があるわけである。

この関係はどうなのか。



資料No.2でいう「構成要素」と、資料No.1でいう「構成要素」は同じことなのか。

【竹内会長】

そうである。

【平田 伸一委員】

では「カテゴリー」とは何なのか。

先ほどの事務局の説明では、カテゴリーについて、どれを選ぶのか協議をして、それから構成要素を選ぶような話だったと思う。

だから、考え方としてどうなのか。

まず、カテゴリーから選んで、ここで書いてある、いろいろな項目がある、構成要素をまとめあげていく、というかたちなのか。

それとも、構成要素というものは、このまま採用して、ということなのか。どういふふうな話で進めるのか、進め方がよく分からない。

【竹内会長】

カテゴリーはこれこそ、最初に地域の皆さんと意見交換したときに出てきたカテゴリーである。

「風景」「農業」「文化芸能」「人」「歴史」「食」「交通」「福祉」「その他」。

これは一つのカテゴリーになっているので、それに基づいて、前回のグループワークの中で、これに基づくキーワードは、構成要素のようなものは、ということで、皆さんから付箋を付けてもらったものが、この1班と2班に分かれた意見となっている。

資料No.2の構成要素と一緒にするが。

「風景」というかたちの中でカテゴリーを決めるのであれば「風景」と「歴史的なもの」が、一緒にするようなものがあれば、こうつなげていきたいなど、そういうところをまとめる。カテゴリーも五つか六つくらいにまとめたいと思っていた。まとめた中で文言を、構成要素を決めていきたい。

保坂副会長、いかがか。

【保坂副会長】

言葉だけいうと、ここにある構成要素と、こちらの構成要素と、何が同じなのか、

という疑問が確かにあると思うが、資料No.2で作り上げていく構成要素というものは、皆さんが以前、話し合いで1班と2班に分かれて出したときの、ある人にとってはキーワードであり、ある人にとってはある程度成文化した言葉であり、ということで、ちょっとまだ、練られていない部分がある。そこをまとめていくに当たっての大きな窓口として「風景」とか「農業」とか「文化芸能」というカテゴリーに分かれて、事務局から作っていただいた。それを見たときに、例えば、「農業」と「食」との関わりがあるので、これを一緒にした言葉で、構成要素を作っていくのではないかと、という話が出たときに、それを関連させる言葉として、こんな言葉でまとめていくとよいのではないかと、というようなことで話し合っていく。いわゆる資料No.2に当たる、いろいろな区で出されてきた、以前、皆さんご覧になったかと思うが、あのようなかたちができるのではないかと。

ただ、日本語は非常に難しく、何となくこんな感じということで、今回は留めておいて、それをきちんと文書で表したり、あるいは言葉で表したりすると、もっとまた練られていくという部分が、きっとあるかと思うので、今日で作り上げるということではなく、何となくこんな感じのことを言いたいのだ、というところを、皆で今日、話し合えたらよい。

#### 【山口委員】

要するに、活性化についてどうするのか、ということ話し合うわけである。先ほど、私が自分なりに考えたというのは、これは私個人の考えである。

もらった資料のカテゴリーから、それから構成要素の中で、私は、カテゴリーは「風景」だと。その中の構成要素は、写真のスポットだとかが、合うのではないかと。

あるいは、次はカテゴリーが「農業」だと。

先ほど発言した、「ブランド米の発掘」だとか。

それから「文化芸能」。これはもう、歴史的なことがあるとなれば、春駒もあるのではないかと。

あるいは「人」。構成要件は「世代間交流のイベント」とか。

あるいは「食」。「特産品の発掘」だとか。

それでカテゴリーの最後の「福祉」として「高齢者が安心して暮らせる地域福祉の推進」。

こういうものをもとに、先ほど四点ほどあげた。

それがよいのかどうかということは、今度、皆さんが考えるわけである。

平田伸一委員が非常に難しいことを言っているのであるが、要は簡単なのである。

「風景」を取るのか「農業」を取るのか「文化芸能」を取るのか、こういうものでもって活性化するには、目標を定めていけばよい。

皆が、どういうふうにするのか、聞いたほうがよいのではないか。

#### 【渡部委員】

私は、竹内会長の言葉の理解では、あまりにもたくさんのカテゴリーがあるので、似たようなところと一緒に「風景」と「交通」を一緒にしたものの文章を作っている。重複しているものもあるのだ。

あと「農業」と「食」を一緒にする。

カテゴリーがたくさんあり過ぎるので、文章を五つぐらいにまとめたい。似たようなところと一緒にして、その中の文言を、重なっているところは切っていく、つなげていって、一つの文章ができるのではないかと、いうふうに理解した。

カテゴリーという言葉よりも、分類分けを数少なくする、という、単純に、そのように理解した。

#### 【伊藤副会長】

渡部委員が発言したこととほぼ同じだが、このカテゴリーというものがあるが、あまり気にしないというわけではないが、この中で同じような、それこそ「農業」と「食」だと「三郷の特産品を開発する」や「三郷米を作る」というと、同じような意味合いもあるので、それらを一緒に考えて文章を作ると、両方とも使えるような感じになる。仮に一つでもよいとは思いますが、総合的に考えると「食」などを一緒にして、「文化芸能」「歴史」だと、何となくニュアンスは一緒であるので、それを一緒にして、一つの文章、構成要素としての文をまた新たに作る、という考えにすれば、構成要素は六つくらいしかないため、これを全部これから拾う、ということは大変である。同じようなカテゴリーを一緒にして、また新たに一つの文章を作れ

ば、いろいろな項目というか、構成要素の案ができるのではないか、ということで、それを最初にカテゴリーで、同じようなものだから、だから一緒にしようか、ということ、皆さんで考えていくことができれば、というのはある。

あまり難しく考えないでという言い方もよくないが、同じような感じのものを一緒に考えて、くっ付けてやっていこう、構成要素を考えていこう、ということ、正副会長会議で、話をした。何となくこういうふうな感じのほうが分かりやすいのではないか、ということで、皆さんと協議したいと思うので考えていただければと思う。

**【平田伸一委員】**

私もその進め方でよいと思う。

そのため、やはりカテゴリーを選び、どれとどれをくっ付ける等、まずはそういった作業が先なのではないか。その上で、中身をどうするのか、という、資料No.1でいう「構成要素」ではなくて、これは「キーワード」だと私は思っている。

ここで構成要素を使ってしまおうし、こっちで構成要素を使ってしまおうから重複してしまい、何か意味が分からなくなる。やはり、一緒にできるカテゴリーはどんどん一緒にしていって、その中でキーワードというか、委員が出し合った項目を文章化していく作業だろうと私は思う。

「構成要素」というものは、非常に紛らわしいので、その辺をきちんと説明して、お互いに理解し合わなければ、話は進まないような気がする。

**【竹内会長】**

その通りなのである。

今ほど、保坂副会長と伊藤副会長も話したとおりである。

まずはカテゴリーにこだわらず、意見を出してほしい。出た意見は、保坂副会長がホワイトボードに書いていくので、その中でまとめていくことができればと思う。

・何か意見等ある委員の発言を求めるがなし。

渡部委員、何か意見等あるか。

**【渡部委員】**

「風景」と「交通」は一緒によいと思う。

**【竹内会長】**

吉田委員、何か意見等あるか。

**【吉田委員】**

私もカテゴリーを全て入れることは、やはり厳しいと思っている。

地域活性化のために何を重視するのかということ構成要素として入れることができるかよいかと思っている。

私が考えたたたき台というか、一案であるが、例えば「風景と同調する、情報の発信」「同調には山・鳥・植物・昆虫等」ということである。

また「上越妙高駅までの良好なアクセスによる移住環境の発信」また「歴史文化の継承、国分寺・春駒・偉人」と、「三郷米のブランド化の推進（体験農業を含む）」、「地域づくりリーダーの育成」、「集えるイベントの推進」等を構成要素として私なりに考えてきた。

**【竹内会長】**

平田伸一委員、何か意見等あるか。

**【平田 伸一委員】**

「農業」と「食」は一緒かと思う。

また、「文化芸能」と「歴史」も一緒。

そして、「人」と「福祉」が一緒のような感じなのかと思っている。

その中から、何をどう選ぶのかは、また次の話になると思う。

**【竹内会長】**

平田清委員、何か意見等あるか。

**【平田 清委員】**

今ほど、平田伸一委員が発言したとおりだと思う。

「交通」については、三郷地区の立地という部分が主な要素になっているので、これは切り離しておいたほうがよいかと思う。

**【竹内会長】**

次に、小山委員、何か意見等あるか。

**【小山委員】**

他の委員が発言したとおりだ、と思いながら見ていた。

**【竹内会長】**

次に、伊藤光夫委員、何か意見等あるか。

**【伊藤光夫委員】**

カテゴリー等、気にせずに資料No.1を見て、この資料No.2の構成要素に、私としてはどれが三郷区としてよいのかというイメージで考えてみた。

先ほどから他の委員からも意見が出ている「田園風景」「農業体験」「春駒」「福祉」「三郷のよいところを支え合って、住みたい区にしていく」というように、五つほど項目を選んでみた。

構成要素の文言は、皆で考えて、いろいろと相談しながら決まっていくのだと思う。

資料に記載されている構成要素の中から、私なりに選んできて、他の委員の意見も聞いて、まとめて方向性を出していければ、というつもりで本日は出席した。

**【竹内会長】**

カテゴリーとしては、皆が言っているようなかたちの中でもよいのかという気がする。市村委員、何か意見等あるか。

**【市村委員】**

「誰を」「何を」対象にするのかということが、すごく難しいと自宅で資料を読んでいて思った。

ぱっと思いつくものとしては「農業」と「食」である。

三郷の中である事業というか、お金を生むようなものは、やはり米が大きいと思う。そういう事業に絡むものについて「活性化」というものは、すごくアイデアとしては、出てくると思う。だが、それは農業をやっている人限定になってしまうので、やっていない人が置き去りになってしまうような感じがする。

「誰に対して」「どこに対して」ということを考える必要がある。

**【竹内会長】**

活性化するための対象とするものは、なかなか難しいところもある。

構成要素のようなカテゴリーというか、これとこれ、というかたちで意見をいた

だいた。

#### 【保坂副会長】

構成要素の中に、私は「人材育成」というか、子どもたちを育てる、今ある組織の人たちがもっと動きやすいようにする活動等、よい言葉が今は出てこないが「人を育てる」というものを何か入れたい。

いろいろなところに関わってくる部分があるかもしれないが、今、地域で頑張っている人たちから、もっと頑張ってもらえるための支援や、将来的に子どもたちが三郷区に帰ってくるようにするために、今の子どもたちを大事に育てる、といった「人育て」のような項目があるとよいかと思った。

今の私の意見もホワイトボードに加えてもよいか。

#### 【渡部委員】

「その他」のところはどうか。子どもに関係した意見がある。

また「人」のところにも同様にある。

#### 【山口委員】

今ほどの渡部委員の意見についてである。

カテゴリーの「その他」に、1班からの意見で「地域の子どもたちを支える組織→地域の子供たちを健全に育てる取組」とあるので、保坂副会長の意見がこれにあてはまるのか否か。あと「人」のところも1班からの意見で「地域にある様々な組織が活性化するために→地域のリーダー育成」とある。

保坂副会長の言っていることは分かるので「その他」としてそういったものを拾っていくのか否かだと思う。

#### 【竹内会長】

では、今ほど、カテゴリーを「これとこれ」というふうにくっ付けるといくつになるか。「風景と交通」となれば、それで一つ。6個になるか。

目標としている6個の項目を、これとうまくくっ付けて、こうだよというかたちになる。

では、「風景と交通」の中で、今度は構成要素である。

まず、「風景」からいく。

「風景」では、どうか。

個々に意見を持っている委員もいるようだが「風景」の中で構成要素としてよいと思うこと等あれば、発言願う。

【山口委員】

「風景」の中でピックアップして、項目を挙げてあるが、それを今度は、事務局と正副会長で文言をまとめるということか。

【竹内会長】

そのとおりである。

【山口委員】

それであれば、先ほども発言したが、風景については「景色が美しい→三郷から見える四季折々の風景写真を残す」、「三郷の田園風景の発信」、「写真スポットになる（映える）風景の魅力の発信」といったことを入れてはどうか。

まとめることは大変だと思うが、そういったことでよいか。

【竹内会長】

よい。

【山口委員】

では、そういったことを挙げればよい。

【竹内会長】

「交通」ではどうか。

【山口委員】

「交通」ならば、先ほど別にすると言っていたが、あえて言うならば、「アクセスが良好な立地を利用して人を集める」というように、人を集めることも一つあると思う。それから「便利な北陸新幹線及び近傍の海、山へのアクセス」ということもあるので、そういったものをまとめるとよい。

【竹内会長】

「食」と「農業」ではどうか。

【山口委員】

「食」と「農業」については、先ほども発言したように「三郷米のブランド」「地



域特産品の開発」と考えると、そういったものもよい。「食」と「農業」をくっ付けるのであれば、これしかない。

【竹内会長】

「文化芸能」「歴史」ではどうか。

【山口委員】

「春駒の伝承」「春駒を通じた交流」等がある。

「歴史」については「三郷の歴史・史跡を研究する会で取り組んでいる成果を皆で共有する」「偉人の過去の拠点」「三郷の歴史の写真を集めてデータ化する」等、いろいろと出てくるが、そういったことを挙げるとよい。

【竹内会長】

「人」と「福祉」はどうか。

【山口委員】

「人」は、先ほども言ったように「世代間交流できるイベント」「福祉」については「高齢者が安心して暮らせる地域福祉の推進」だと思う。

あとは、皆の考えだと思う。

「その他」としては保坂副会長の意見にもあったように「地域の子どもたちを支える組織」もよい。

まとめることは大変だが、私はこのように思う。

【竹内会長】

山口委員に集中して発言を求めたが、このようにカテゴリーとして私はどれがよい、といった意見を求めたい。

市村委員の発言にあったように「誰を対象に」「何を対象に」というところもあるので、なかなか難しいところもある。

このようなかたちで今ほど決めた六つのカテゴリーの中から、意見のある委員の発言を求める。

文言については、正副会長と事務局で整理したいと思っている。

渡部委員、何か意見等あるか。

【渡部委員】

資料No.1にある意見は、それぞれの委員が出した意見なので、できることであれば、最初は文章にならなくても、全てくっ付けてみてはどうか。

それでなければ、拾ったものと外すものが、重複しているものはよいと思うが、どういう基準でそうなったのか分からない。

そのため、私はとりあえず、皆の意見を一つの文章に作り上げたほうがよいと思っている。

**【竹内会長】**

次に、伊藤光夫委員、自分なりに考えてきたものがあるというような話をしていたと思うが、何か意見等あるか。

**【伊藤光夫委員】**

私は、資料No.1の構成要素のそれぞれのカテゴリの中から、よいと思うものを五つ選んで来た。しかし、今ほどの渡部委員の話にあったように、すべてくっ付けるとなると、似たようなものを合わせていくといったことしか、そういうかたちで今は思いつかない。

三郷として「本当に良い点」が、この中にはすべて出ているような気がする。これからの話し合いの中で、今出たもので寄せていくというか、よいところを集めていけばよいのではないか。今は、そのくらいしか思いつかない。

一つ確認だが「地域活性化の方向性」は決まったとして、私たちの残りの任期は1年であるが、今後はどうやって続いていくのか。

私たちの残りの任期で終わって、次期地域協議会委員は改めて「地域活性化の方向性」の作成に向けて討議するのか、または、今回決めたことは永久的に残って続いていくのか、それによって題名の決め方も違って来るのかと思う。

以前にも話があったかもしれないが、お聞きしたい。

**【竹内会長】**

各地域協議会で「地域活性化の方向性」を決めていくと、次は行政がそれをある程度、三郷区はこういう活性化を目指しているわけなので、それに基づき予算的なものを付けるなどというところにつながってくると思う。

地域協議会でもそれに基づいた協議をしながら、先ほども話があったように、そ

れを自主的審議事項に発展させて意見書を提出する、といったところに向かっていくのかと思っている。

私たちの任期が「残り何年」ということではなく「三郷地区ではこういう目標に向かっていく」というところを、やはり行政にも見せていかなければならない。

それをもとに、地域も動かなければならないし、そして行政からも動いてもらうということである。

これきりのものではないと思っている。

**【伊藤光夫委員】**

では、次の地域協議会にもつながっていくということか。

**【竹内会長】**

そうである。

事務局より補足等あるか。

**【難波主任】**

今ほど竹内会長が説明したとおりである。

繰り返しになるが、「地域活性化の方向性」の作成目的としては、スローガンを作って、委員間の認識の共有はもとより、地域協議会と市の認識の共有を図ることと、市の取り組みの企画の参考としたい、といったことが目的になる。

**【竹内会長】**

平田伸一委員、何か意見等あるか。

**【平田伸一委員】**

これをベースにして、文書化していくわけだが、そうになると、もれ落ちているものがたくさんある。それらをどのようにフォローするのか、ということもあると思う。このかたちで、ここに載せる構成要素として、結局は書面化しなければならないわけであり、文書化しなければ進まないわけである。

そのかたちで、これをベースにしてやるのだと思うが、それしか方法はないのか。やはり少数意見というか、そういう部分も考えていく必要があると思う。

これから、事務局と正副会長に取りまとめをお願いするとなったとしても、やはり、何が落ちているのか、といったところも資料として第2ラウンド、この次の会

議で、改めてこれについて案を出して、それをまたいろいろと審議するわけだが、その際には、やはりこの資料も必要なのだと思う。

何が落ちているのか、ということも、逆に確認しなければならないことだと思う。

そのような進め方かと思う。

**【竹内会長】**

カテゴリー別に、構成要素を六つほど決めたので、山口委員の発言にあったようなものを拾いながら、各構成要素の文言を決めるのか。または、せっかく各委員より出た意見なので、渡部委員の発言にあったように、同じような文言もあるが、ある程度まとめていったほうがよいのか、というかたちになると思う。

吉田委員、何か意見等あるか。

**【吉田委員】**

カテゴリーは二つくらいずつ、まとめたことはよいと思う。この中からその構成要素として何を重視するのか、ということで、カテゴリーを一つずつ、山口委員のほうで選ばれたということで、構成要素は他にもいろいろあると思うが、ここに書かれた、これから決める構成要素以外についても、構成要素としてはこのように記載します、ということであると思うが、それ以外のものも、当然、細分化すれば入ってくると思うので、今のやり方でよいと思う。

**【竹内会長】**

カテゴリーをまとめ、山口委員からも「風景」と「交通」であれば「景色が美しい→三郷から見える四季折々の風景写真を残す」等、ピックアップしていただいた。他に重要視したほうがよいもの等あるか。

平田清委員、何か意見等あるか。

**【平田清委員】**

「その他」のところで、「イベント」という項目が何人かから出ている。

先ほどの説明で、三郷区がどういう地域活性化の方向性なのか、というところを市が参考にしたいということであれば「地区イベント」「夏祭り」といった項目については、何らかのかたちで反映したほうがよいのかと思う。

その他については、これまでにいろいろと意見が出されているので、それでよい

かと思う。

**【竹内会長】**

市村委員、何か意見等あるか。

**【市村委員】**

この「地域活性化の方向性の基本形」というものを出すことによって、行政がどの方向を向いていて、予算が付く、付かないかの参考になる、という話を聞いた。それはすごく大きな話かと思っており、さらにそれを出すことによって、今後、地域協議会でもそれが続いていくということだと、簡単には決められない、ということが、正直な思いである。

三郷区地域協議会の12人で決定したものが、今度、ずっと続いていってよいのか否かということも、本当に考えてしまう。ここ以外にも、他の団体や地域住民にも聞いて、どういう方向がよいのか、ということも聞かなければ、うまくないのではないか。少数だけで決めて進んでいくことは怖い、ということが、正直な思いである。そのため、なかなか「これがよい」とうものは、私の中では決められない。

**【難波主任】**

今ほど、市村委員から「市の予算がつく参考になる」との発言があったが、先ほど「地域活性化の方向性」の目的について、「市の取組の企画の参考とする」と申し上げたが、必ずしも予算がつくということではない。

主の目的としては「地域協議会と市の認識の共有を図る」ということと「委員間での認識の共有を図る」ということである。

**【渡部委員】**

先ほど「全て入れるとよい」と発言したが、もう一つ。

言葉を頭の中で言い換えた。この中で「風景」は「自分たちは何をしたい」。「農業」は「特産品を作りたい」。「文化芸能」は「守りたい」など。「人」は「世代間交流をしていきたい」など、語尾を「～したい」にすると、すごく分かりやすいような気がした。

「特産品を作っていきたい」「人間を育てていきたい」等、このようにすると、すごく私の中でずっと理解できるものがあったので、そのように考えていけば、構成

要素の文章になっていくような気がした。文章も選べるような気がする。

【竹内会長】

語尾を「したい」「向かいたい」「守りたい」等にするのは、すごくよいことだと思う。

「守りたい」「作りたい」「育てたい」といった目標だと思う。

他の委員よりいただいた意見もあるので、それに語尾を付け加えて、正副会長で文言を検討したい。

【平田 伸一委員】

少し追加である。

項目を見ながら、照らし合わせてみたところ、「文化芸能」のところで「春駒の伝承」「三郷の歴史」だけではなく、やはり「盆踊りの復活」や「文化祭の開催」といった、地域全体で取り組むようなものも必要ではないか。

逆に「春駒の伝承」と「三郷の歴史」だけでは、狭すぎるような気がする。

それと同じく「人」のところでも、やはり「リーダーの育成」ということは、すごく大事なことだと思う。人と人がつながっていくようなところも必要な気がする。お互いがつながっていく、ということが必要な気がする。

「福祉」も同様である。福祉でも「人と人とのつながり」「見直し」等、再構築していくことが必要な気がする。

また、偉人等も調べるということもあると思うが、人のところに「三郷の偉人伝」や「歴史的人物の発掘」といったことが書いてある。これはある意味で「文化芸能」や「歴史」のほうに入ることなのかもしれない。

考える余地としては、そちらのほうが整理されていくような気がする。

あと、もう一つ。

「歴史」のところは、やはり「越後国府資料」「国分寺」等、頑張って研究されている団体もあるので、この先どうなるのかは分からないが、ある意味、全国、県内でも誇れる地域なのだと思う。

昔から洪水のない場所に国分寺ができたのだと思う。それもある意味、三郷の特徴であり、よいところなのだと思う。

**【竹内会長】**

地域独自の予算でも「三郷地区の歴史・史跡を研究する会」に予算を付けていただき、頑張っている。

圃場整備も動いてくると、そこにどんな遺跡が出て、ということが、もし、国分寺が本当に出ると、三郷はまたすごいことになってくると思う。それについても期待しつつ、いろいろな事業を進めていかなければならないのかと思っている。

小山委員は、春駒について皆さんと頑張ってきたところであるが、何か意見等あるか。

**【小山委員】**

特にない。

**【竹内会長】**

皆さんから、カテゴリー別のものを構成要素として、六つ選んでいただいた。

その中での構成要素の文言で「これは外せない」というところの強い言葉など、いろいろと意見をいただいた。

最終的には、正副会長で取りまとめ、今の下段の構成要素としてまとめて、整理したい。

山口委員より自分なりの文言をいただいたが、正副会長で整理したものを基に、次回は詰めていきたい。

本日は、構成要素の掘り出しといったかたちで意見をいただいた。

もともとは、委員よりいただいた意見であるので、全部の文言を反映することはなかなか難しいところがあり、それをまとめてくる我々も大変なところがあるが、そういったかたちの中で進めていきたい。

では、下段の構成要素を次回の会議までに正副会長でまとめて、素案を示したい。それを練って、今度は上段の見出しをまとめていくことができればと思っている。

文言等、細かなところも事務局より見ていただきながら決めていき、会議で示しながら、最終的な「地域活性化の方向性」を作り上げていきたい。

事務局、このような進め方でよいか。

**【難波主任】**

竹内会長の発言したとおりの進め方でよい。

**【竹内会長】**

本日、山口委員、吉田委員、伊藤光夫委員のように、自分なりに考えてきた委員もいた。そういった意見も反映しながら、完成形を作っていくことができればよい。

以上で、次第4 議題（2）地域活性化の方向性について を終了する。

— 次第5 事務連絡 —

**【竹内会長】**

次第5 事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

**【滝澤センター長】**

- ・次回会議：4月18日（火） 午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・南部まちづくりセンターの移転について
- ・その他の配布物：浦川原区地域協議会の意見書

**【竹内会長】**

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求めるがなし。

本日の議題は全て終了した。

- ・会議の閉会を宣言

10 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

11 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。